

5章2節24 問いづくり「新聞を読み質問力を磨く」

大村昌代

科目名：[質問力を磨く] / [全]学年対象・[2]単位	
出題する考査	[春]学期 最終発表、レポート、ポートフォリオ
該当する单元等	全回
出題意図 (レベル)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分（たち）の主張を言語化し、問いに転換して考えを深め、表現する (E) ・社会の動きや自分以外の人の生き方を問いによって明らかにする (C) ・質問から何を聞き出そうとしているかがわかる (C) ・質問の表現を相手に伝わるように説明する (C) ・社会背景や時事用語、ことからの関連性や問題点を発見し、調査する (I)
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分以外の人の立場を踏まえ、どうしたら私たちはこれから幸せになれるだろうか。 (E) ・あなたはどのような記事に書きかえるか。 (E) ・あなたの問いはほかの人に伝わるだろうか、どのように工夫したらよいだろうか。 (E) ・個人やグループでの問いづくりの過程、発表者への質疑応答、自分が発表した際に問われたことを通して、あなたのこれまでの学びはこれからどのように変わるだろうか。 (C、E) ・あなたの問いで一番言いたいこと、明らかにしたいことは何か。 (C) ・自分以外の誰かはどのような人生を生きていくだろうか。 (C) ・自分以外の誰かの立場になりきって新聞を読む。その誰かがこの記事を読んだらどのような疑問を持つだろうか。 (C) ・この記事のキーワードは？ (I) <p>※最終試験（発表とレポート）は授業時の問いかけと同様である。 ※最終試験（発表とレポート）で扱う「自分以外の誰かの立場」はこちらで設定する。 自分以外の誰かの立場の設定：経営難に悩むフランチャイズ契約のコンビニ経営者 なお、どのような経営難にある人かについては、学生が詳細を設定する。</p>
採点基準 (配点)	<p>実際の授業では、最終発表とレポート提出、出席、ポートフォリオで評価した。</p> <p>最終発表では、個人発表（1分）を全員で聞き、質疑応答（3分）を行う。自分が最も共感したり、驚いたり、思いもよらなかったと学べた最終発表を一つ選び、投票する（自分の発表も含む）。</p> <p>レポートは三名程度で読み合い、内容についてお互いにコメントを書き入れる。その際に、レポートの着眼点、問いの深さ、表現の分かりやすさ等を見つけ、おもしろさなど、相手の学びを高めるようにコメントする。どうしたらより伝わりやすくなるかについても指摘する。どのような点がどのように自分の学びになったのかも書き入れる。</p>
備考	<p>本授業はICEモデルを取り入れた授業デザインはしていない。したがって、授業のシラバスに沿った採点基準や配点にしており、ICEに準じた採点はしていない。ここでは、授業内で何度も問うていることを抜き出し、ICEに当てはめて考える試みで記述した。</p>